

平成30年度

河内探択地区教科用図書探択協議会調査員会資料

【中学校用】様式1-1

<p>道 徳 1 - 3</p>	
----------------------------	--

調査員会報告書総括表

種目名 (道 徳) No. 1

調査の対象となった図書数	種類数 (8 種) 点数 (30 点)
<p style="text-align: center;">調 査 結 果</p>	<p>1 東京書籍は、次のような特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめや情報モラル、防災など現代的な課題を扱う教材のほか、いのちや先人の生き方、国際理解等について考えたりするなど幅広い話題を取り上げ、多様な題材を教材として扱うよう配慮されている。 ◎ 中学校での実話や人気作家の小説、スマホなどの身近な題材を取り上げたり、漫画資料や投書なども使用したりするなど、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。 ◎ 巻頭に「話し合いの手引き」が配置されたり、自分の考えを自由に記述できる「つぶやき」のコーナーが設けられたりするなど、充実した言語活動が行われるよう配慮されている。 ◎ 冒頭にテーマや関連する漫画を挿入することにより、課題を考える手立てとして考えを深められるようになっていたり、体験的な学習を主体とした「アクション」を教材とセットで配置することにより、学習をさらに深められるよう配慮されている。 ◎ 全学年で、「いじめのない世界へ」と「いのちを考える」に重点を置き、複数の教材をユニットとして掲載し、生徒が多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 ◎ 教材の冒頭で、各教科等との関連を示したり、巻末でテーマごとに教材を分類したページを配置したりするなど、関連が図られるよう配慮されている。 <p>2 学校図書は、次のような特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「命」「人・社会」「世界・文化」「自然」の4つのつながりを大切にし、多様な題材を教材とすることにより、学校教育全体を通じて、調和的な学びができるよう配慮されている。 △ 長編の読み物教材が多く、教材を読むだけで時間がかかるため、考えを深める時間を十分にとることができないことが想定されるため、教材文の分量について配慮が望まれる。 △ 他教科等への関連について具体的に明記されていないため、分かりやすく表記されるよう配慮が望まれる。

調 査 員 会 報 告 書 総 括 表

種目名 (道 徳) No. 2

	<p>3 教育出版は、次のような特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめ防止、情報モラルや生命倫理といった現代的な課題に加え、偉人の伝記やスポーツ選手など、多様な題材を教材として扱うことにより、生徒が様々な視点で学ぶことができるよう配慮されている。 △ 他教科等との関連については具体的に明記されていないため、分かりやすく表記されるよう配慮が望まれる。 <p>4 光村図書出版は、次のような特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめ防止や情報モラル、人権といった現代的な課題に加え、漫画や絵本など、多様な内容や形式の教材を位置づけることにより、生徒が様々な視点で学ぶことができるよう配慮されている。 ◎ 生徒と同年代の登場人物の教材や、若者に人気の楽曲の歌詞を教材として位置づけるなど、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 ◎ 教材末の「考える観点」を用いて、書いたり、話し合ったりすることができるよう工夫されるなど、充実した言語活動が行われるよう配慮されている。 ◎ 教材末の「考える観点」の「つなげよう」を用いて、他教科や学校行事、日常生活での体験と、道徳の学習が関連付けられるよう配慮されている。 <p>5 日本文教出版は、次のような特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめ問題についてさまざまな教材やコラムをユニット化して配置されているほか、著名な人物や歴史的題材、生徒作文等を取り上げ、キャリア教育、国際理解、情報モラルなど多様な題材から考えを深められるよう配慮されている。 ◎ 実在の人物の誇りある生き方を紹介したり、学校行事と関わりの深い教材を配置したりするなど、生徒の興味・関心を高め、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ◎ 「学習の進め方」というページを設け、写真や図を用いて話合いの手順を分かりやすく示すとともに、別冊の道徳ノートに意見やメモを書き込めるよう工夫されている。 ◎ いじめや生き方など、特に重点を置きたいテーマに関しては教材を連続して掲載し、より多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。
--	---

調 査 員 会 報 告 書 総 括 表

種目名 (道 徳) No. 3

	<p>6 学研教育みらいは、次のような特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめ防止、いのちの教育、情報モラルなど現代的な課題のほか、豊富な人物を扱い、さまざまな視点から考えられるよう配慮されている。 ◎ 著名なスポーツ選手や科学者を取り上げたり、漫画や写真・イラストを多用したりするなど、生徒の興味・関心が高まるよう配慮されている。 △ 「深めよう」のページでは、話し合い活動に直接結びつくような内容がさらに多く示されるよう配慮が望まれる。 △ 喫緊の課題であるいじめ防止やいのちの教育、情報モラルなどについても重点的な指導ができるような配列が望まれる。 <p>7 廣済堂あかつきは、次のような特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ いじめ、情報モラルなどの現代的な課題のほか、名作や伝記など多様な題材が取り上げられるなど配慮されている。 △ 他教科等との関連については具体的に明記されていないため、配慮が望まれる。 <p>8 日本教科書は、次のような特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 情報モラルやいじめに関する教材、LGBTの問題など現代的な課題のほか、地域に尽くしてきた人々の教材や食育についてなど、多様な視点から考えられるよう配慮されている。 △ 読み物教材が多く、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習として扱える教材が少ないため、配慮が望まれる。 △ 教材が内容項目の順序通りに配列されているため、教材同士の関連や一年間の見通しがわかりにくく、発達の段階に応じてバランスよく配列するなどの工夫が望まれる。 △ 他教科等との関連については具体的に明記されていないため、配慮が望まれる。
<p>調査方法等</p>	<p>調査員 8 名で、各学年を分担し、学習指導要領の趣旨や本採択地区の実態等を考慮しながら、厳正に調査研究を行った。</p>